

教員免許状更新講習をめぐる諸問題（承前）

——資料補遺——

横 田 信 義

はじめに

一 講習実施前の諸問題

- 1 講習の趣旨・目的
- 2 講習を開設することができる機関、そして内容
- 3 講習内容
- 4 文部科学省への申請・認定
- 5 募集について
- 6 受講生の属性—男女比・年齢・免許状の種類
- 7 課題意識調査・「事前アンケート」の分析
- 8 障害者の受け入れについて

二 講習中の諸問題

- 1 当日の運用—遅刻・早退等について—
- 2 受付について
- 3 講義中
- 4 終了試験について

三 講習終了後の諸問題と判定会議

- 1 終了認定試験の結果（以上 前号）

おわりに

- 2 事後評価のためのアンケートについて（以下本号）
 - 2-1 本講習の内容・方法についての総合的な評価
 - 2-2 本講習の運営面についての評価

は じ め に

本稿は、前号の「教員免許状更新講習をめぐる諸問題」の『資料』にあたるものである。前号からの次第は上記の通りである。本来ならば「おわりに」等は論文の最後に予定していたが、頁数が多いので2分割せざるをえなかった。

2分割するに際し、結論や註のないものは、形式上論文としては扱わないので、止むをえず前号の最後に「おわりに」を組み込んだのである。了解されたい。

2 事後評価のためのアンケートについて

『免許状更新講習規則』の「第七条（略）2 免許状更新講習の開設者は、免許状更新講習を

行った後、当該免許状更新講習の運営状況、効果等について評価を行い、その結果に基づき当該免許状更新講習の改善を図るために必要な措置を講ずることにより、その水準の向上に努めなければならない。3 免許状更新講習の開設者は、前項の評価を行った後、遅滞なく、当該評価の結果を文部科学大臣に報告するものとする。」とあり、この規則に従い本学も実施した。その結果が表 11-1～5 および表 12 である。これらの分析をする。

なお、未回答者が若干いるが、これは除いている。

2-I 本講習の内容・方法についての（1～5の視点をふまえた）総合的な評価

表 11-1 を見る。

表 11-1

講習	必修/選択	よい	だいたいよい	あまり十分でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	40	112	11	1	1
	選択	82	79	3	0	1
冬期講習	必修	15	22	3	0	0
	選択	26	11	2	0	0

夏期講習の「内容・方法」が受講生にとってどうであったのかについてである。必修講習は「よい」「だいたいよい」が152名。「あまり十分でない」11名「不十分」1名計12名が「本講習の内容・方法」に不満を感じていたことが知れる。これらをどこから来た先生だったのかを表 11-4 の「学校種別」から判断する。

表 11-4

講習	必修/選択	学校種	よい	だいたいよい	あまり十分でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	幼・保	2	7	0	0	0
		小学校	21	59	5	1	0
		中学校	9	19	3	0	0
		高等学校	3	11	1	0	1
		特別支援	3	4	0	0	0
		養護教諭	2	12	2	0	0
	選択	幼・保	5	4	0	0	0
		小学校	42	42	1	0	1
		中学校	18	12	1	0	0
		高等学校	9	6	1	0	0
		特別支援	2	5	0	0	0
		養護教諭	6	10	0	0	0

冬期講習	必修	幼・保	2	5	0	0	0
		小学校	5	9	0	0	0
		中学校	3	6	1	0	0
		高等学校	2	0	1	0	0
		特別支援	2	1	1	0	0
		養護教諭	1	1	0	0	0
	選択	幼・保	3	4	0	0	0
		小学校	9	3	1	0	0
		中学校	8	2	0	0	0
		高等学校	2	1	0	0	0
		特別支援	3	0	1	0	0
	養護教諭	1	1	0	0	0	

「不十分」1名は小学校の教諭であった。小学校教諭が5名「あまり十分」ではなかったと感じている。次が中学校の3名。そして、養護教諭の2名、高等学校の1名となる。しかし、「内容・方法」の必修講習受講者の92%の支持が得られている。

選択講習については、この「内容・方法」は「よい」「だいたいよい」が161名となる。一方、「あまり十分でない」3名、「不十分」0名になった。そこで、「あまり十分でない」のはどこの先生なのかを表10-4からみる。小・中・高それぞれ1名いることがわかる。しかし、「幼・保」「特別支援」「養護教諭」は100%の人が「よい」「だいたいよい」とした。それでは次の「本講習を受講したあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての（6～9の視点をふまえた）総合的な評価、表11-2をみる。

表11-2

講習	必修/選択	よい	だいたいよい	あまり十分でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	68	83	12	1	1
	選択	104	58	3	0	0
冬期講習	必修	21	18	1	0	0
	選択	26	11	2	0	0

夏期講習の必修講習では、「よい」「だいたいよい」が151名、「あまり十分でない」12名「不十分」1名、計13名である。このマイナス評価の13名を表11-5でみる。

表 11-5

講習	必修/選択	学校種	よい	だいたい よい	あまり十分 でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	幼・保	6	3	0	0	0
		小学校	38	42	5	1	0
		中学校	12	16	3	0	0
		高等学校	8	6	1	0	1
		特別支援	3	4	0	0	0
		養護教諭	2	11	3	0	0
	選択	幼・保	7	2	0	0	0
		小学校	54	31	1	0	0
		中学校	19	11	1	0	0
		高等学校	11	4	1	0	0
		特別支援	5	2	0	0	0
		養護教諭	8	8	0	0	0
冬期講習	必修	幼・保	4	3	0	0	0
		小学校	6	8	0	0	0
		中学校	5	5	0	0	0
		高等学校	2	0	1	0	0
		特別支援	3	1	0	0	0
		養護教諭	1	1	0	0	0
冬期講習	選択	幼・保	3	3	1	0	0
		小学校	9	3	1	0	0
		中学校	8	2	0	0	0
		高等学校	2	1	0	0	0
		特別支援	3	1	0	0	0
		養護教諭	1	1	0	0	0

小学校の先生に5名、「あまり十分でない」と1名の「不十分」と感じている先生がいた。さらに中学校、養護教諭の3名が「あまり十分でない」と評価している。前述のように、養護教諭の参加人数は16名だから割合で示すと18%になる。また、高等学校教諭に1名「あまり十分でない」人がいた。つまり、「成果」があまり感じられないということである。それでは、選択講習はいかがであろうか。

表 11-2 夏期講習の「選択」をみる。「よい」「だいたいよい」が162名、「あまり十分でない」3名、「不十分」0名となっている。つまり夏期講習の必修講習の13名から3名に減り、さらに「不

十分」と感じた人はいなくなった。表 11-5 からわかるように、小・中・高の教諭に 1 名いることが知れる。一方、「幼・保」「特別支援」「養護教諭」ではほぼ 100% で「よい」「だいたいよい」の評価をしている。最後に「本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価」をみよう。

2-III 本講習の運営面（受講者数、会場、連絡等）についての評価

表 11-3 をみる。

表 11-3

講習	必修/選択	よい	だいたいよい	あまり十分でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	91	60	12	0	2
	選択	89	68	7	1	0
冬期講習	必修	34	6	0	0	0
	選択	37	2	0	0	0

夏期講習の必修講習では、152 名が「よい」「だいたいよい」としたが、12 名が「あまり十分でない」とする。この 12 名を表 12 より考察する。

表 12

講習	必修/選択	学校種	よい	だいたいよい	あまり十分でない	不十分	未回答
夏期講習	必修	幼・保	7	2	0	0	0
		小学校	51	29	5	0	1
		中学校	13	15	3	0	0
		高等学校	9	5	1	0	1
		特別支援	4	3	0	0	0
		養護教諭	7	6	3	0	0
	選択	幼・保	6	3	0	0	0
		小学校	45	39	2	0	0
		中学校	17	10	3	1	0
		高等学校	9	7	0	0	0
		特別支援	1	6	0	0	0
		養護教諭	8	6	2	0	0

冬期講習	必修	幼・保	5	2	0	0	0
		小学校	14	0	0	0	0
		中学校	8	2	0	0	0
		高等学校	2	1	0	0	0
		特別支援	4	0	0	0	0
		養護教諭	1	1	0	0	0
	選択	幼・保	6	1	0	0	0
		小学校	13	0	0	0	0
		中学校	9	1	0	0	0
		高等学校	3	0	0	0	0
		特別支援	4	0	0	0	0
		養護教諭	2	0	0	0	0

学校種別にみると、小学校5名、中学校3名、養護教諭3名そして高等学校が1名いることがわかる。「幼・保」と「特別支援」はいなかった。それでは夏期講習の選択講習はどうであろうか。

選択講習では、「あまり十分でない」が7名いて必修講習より5名減少しているが、「不十分」とした人が1名いる。これもまた、表12でみる。中学校が3名、つまり必修講習と同じ方がそのように感じていたのであろう。そして、小学校が3名減って2名に、養護教諭が1名減って2名いたことが知れる。いずれにしても運営面でも受講生にはそれ程の不快感はなかったといえよう。「事後アンケート」の表11-3を冬期講習と比較してみると、つぎのようになる。つまり冬期講習では「あまり十分でない」「不十分」は必修・選択講習のいずれにもない。冬期講習は受講者人数が40名で、夏期講習165名と比べると圧倒的に少人数である。夏期講習は3人掛けの机にびっしりおしこめられていて、その会場はみよのからに窮屈そうであった。それに対して、冬期講習は同じほどの教室にゆったりとした雰囲気での講習であったわけで、これだけでも「受講者数、会場」には相違があったわけである。なお、ここでも、冬期講習の分析は省いたが、これもそれぞれの表11-1から表11-5および表12を参照していただきたい。

それでは、ここに記されているのが受講生の「生の声」であろうか。次には、本音にちかい「自由記述」を載せておく。

〈良かった点〉

- ・家族の多大な協力があり全日程受講できました。合格しなければ職を失うという点では必死でした。内容は面白かったです。とても参考になりました。
- ・3日間発達障害について詳しく講義いただき、とても勉強になりました。これからの実際のこ

どもたちとの関わりに活用できるとてもよい機会となりました。

- ・法律の勉強が不足していると痛感しました。発達障害については、知っていることも多く、はっきりと知識が整理されてよかったと思う。
- ・私はまだ講師という立場なのですが、この更新講習を受ける必要があるのか、納得できないところがありました。でも講義としては自分の知識習得のため大変勉強になりました。
- ・正直に言うともんどうだなと思っていたのですが、受けてみるととても勉強になり良かったと思えました。
- ・アクセスも良く施設設備の素晴らしい福祉大学で受講でき、よかったと思う。遠方なので宿泊費用がかかり大変だった。更新講習初年度だったので若干不安もあった。
- ・試験がなければいいですが、自分にとって必要なものばかりだったので、充実した一週間でした。学生に戻りたいと思えました。
- ・一週間通しての講習はとても疲れましたが、連続しての講習は内容を理解する上で有効でした。
- ・長時間講義される先生方もそれを聞いている先生も大変お疲れ様でした。
- ・それぞれの専門分野の先生の講義を受けることができ大変勉強になりました。学校の現場を知っている先生のお話はより通じるものがありましたが、学校に勤めたことのない先生であっても自分はこの分野の専門であると言える先生の話は聞いていておもしろいものがありました。中には自信がないような話し方の先生もいたのは残念ですが…。
- ・最新の教育事情に関しては、内容は役立つものとは思えないものが多かったが、選択に関してはとてもよかった。ありがとうございました。
- ・仕事に追われ学ぶ機会が少なくなっています。研修出張希望も取りづらく、今回は胸を張って研修を十分に受講することができ大変勉強になりました。
- ・最新の教育法などを教えてもらえるのはとてもうれしいです。特に特別支援学校に転勤になり、発達障害児の理解や指導方法がわからなかったので良かったです。テストがなければもっと楽しい講習会だったと思います。
- ・法律関係（教育政策における諸改革の動向と課題）が難しかった。発達障害の講義は丁寧で実践的で参考になった。
- ・教員としての30年のまとめのつもりでいった。大体想定通りである。
- ・LD, ADHD, アスペルガー等の症状を呈する生徒が多く、ぜひ受講したい内容であり、新たな知識を得ることができた。
- ・先生方の専門的な知識や経験を踏まえたお話を聴講させていただき、改めて日々の実践の中で忘れていた教育の理論的な内容や教育に対する姿勢を考えさせられることが多かった。
- ・専門教科の内容とは違う内容の講習を受けたことの意義はある。
- ・疲れたが正直なところだ。しかし今回は受け持つ生徒の顔を思い浮かべながら受けることができ、大変勉強になった。受けてよかった。

- ・私にとっては予想以上の内容であったと思う。
- ・講習は必要であると思う。内容は充実していたと思う。
- ・連続で受けることは予定が取りやすいということもありましたが少々疲れました。
- ・5日間一気にやったので非常に疲れた。しかし内容については自分にとって非常に良いものであったと思う。
- ・テキスト、講師の先生方のお話は要点がうまくまとめられており、自分自身にとって勉強、再確認の機会とすることができた。(自分で申し込んでおいてなんですが、5日間で30時間はきついですね…。)
- ・日ごろ見落としがちな点、鈍感になりつつあった点について、気づかされることができました。意識は少々向上しましたが、現場でどのように生かされるのかは未知数です。
- ・特別支援に関する講義はとても勉強になった。聞くだけでなく演習的なものもあり、よかった。
- ・はじめは負担に感じていましたが、専門的な講義を受けることができ、非常に意義深かったと感じている。
- ・講習内容は希望した講習通りだったので大変勉強になりました。
- ・教員採用試験あるいは初任者研修以来、忘れかけていたものがまたよみがえり、初心に戻ることができた。しかし、こんなに大変な講習だとは思わなかった。
- ・先生方がわかりやすく教えてくださり、とてもありがたいと思いました。今後の学校生活、教員生活に役立てていきます。ありがとうございました。
- ・専門的な内容のものばかりで勉強になりました。一日中“聞く”ことはなかなか厳しく、自分の授業を振り返ることにもしなりました。
- ・免許を取得して長い年月が過ぎたが、学校内外での研修でも沿うような講話を聞く機会があったが、認定してもらうためと一生懸命取り組み、勉強する機会が増えて良かった。
- ・このような制度ができ、なかば仕方なく講習を受けに来たというのが本音であるが、大学の先生方の研究のお話等とてもためになるお話を聞かせていただきとても勉強になった。それぞれの先生方が今の社会にとってとても大切なことを実践されているのだと思いました。発達障害の事は多くの教員に理解が必要であると感じた。
- ・免許が「美術」なので、今回の講習内容で免許状が更新になるのはどうなのかな?という部分はある。講習内容そのものは今後の教員生活には大変有意義なものであった。
- ・福祉大の先生方は大変わかりやすく丁寧に指導していただいたと思います。今後の教員生活にも役立つものばかりでした。ただもうちょっと演習を入れて頂きたかったです。
- ・大変興味深く、そしてわかりやすい内容でした。今までは本でしか得られなかったことが、実際に子どもたちと接している先生方からお話を伺って、とても勉強になりました。先生方のお話とても楽しかったです。10年後ももう一度受けたいと思いました。
- ・必修も選択もためになった。試験はどんな問題が出題されるかドキドキだった。

- ・どうしても勉強したい内容だったので、とてもありがたい5日間でした。しかし普段立ち仕事なので、座り通しは苦しかったです。でもそのことで逆に子どもたちの立場・気持ちが変わり、よかったです。夏休み明け、子どもたちに優しいまなごしをむけられそうな予感がします。
- ・普段あまり触れることのない特別支援教育についての講習だったので、障害についての理解が少し深まった。
- ・必修、選択同時にとれるというシステムをととてもありがたく思いました。
- ・今後活かせるものが多くあったのでよかったです。
- ・特別支援を担当しているので、今回のテーマ、内容は本当に大満足でした。ただやはり、日程的に若干疲れました。支援の在り方をあらためて考えさせられました。
- ・大学によって講習内容が異なるようであるが、今回ののはとても中身の濃い内容だった。今まさに教育現場が必要としている事柄だった。
- ・無事に受講し終え安心した。
- ・全体的に内容は良かった。特に発達障害の理解と指導はしばらく特別支援教育を受け持っていなかったことで、学ぶ機会が少なく、とても役に立ちました。資料や内容も良かった。
- ・決まったことなので受講せざるを得ないが、受ければそれだけ習得すること、役立つことがあるのは当然。
- ・選択講習は専門の先生方のお話で大変参考になりました。
- ・講義の中でのVTRや演習は講義を聞いているだけではよく分からないことも分かってよかったです。
- ・福祉大の先生方も手探り状態だったのではないのでしょうか？ お忙しい中ありがとうございました。
- ・今回のようなテーマが特別支援教育に携わっていない者も受講できて良い。
- ・福祉大らしい特別支援教育に力を入れた内容だった。発達障害の講義は興味深かった。
- ・自分の欲していたものとマッチしていたので大変よかったですと感じている。
- ・特に選択では、段階を踏んだプログラムだと思いました。ビデオ、演習形式、変化があり楽しく感じました。
- ・短期集中型で疲れるが、教職の仕事を考えてと適切なものである。内容は他の大学でも様々であるが、貴大学のものは良かったと思う。
- ・大変刺激になったし、年齢的にもベテランさん扱いされる中、新鮮な気持ちで受講できたことはよるこびであった。先生方の計画された授業展開も勉強になった。また、先生方の心遣い（私共々の言葉遣いなど）に感謝である。
- ・必修は仕方ないとは思いますが画一的なものだった。選択は自分なりに興味はあったので、今後活かしていきたいと思う。
- ・特別支援教育コーディネーターとして、研鑽をつむことができた。ビデオの内容が良かった。

- ・特別支援教育については、自分が担任するクラスに障害をもつ子どもたちが在籍するようになるまで、切実なものとして感じるものがほとんどなかったと言える。今、そのような子どもたちを担任し、悩みながら対応していたので大変良い機会となった。
- ・自分の学校でのたち振る舞いなどの様子をじっくりとモニタリングすることができたと思う。また、「そういえばそうだったなあ」とあらためて考える良い機会となった。(ただ長時間座っているのはつらかった。)
- ・教育法規などは、今まであまり意識的に勉強しことがなかったので、学ぶ機会になった。選択講習では、演習の内容が盛り込まれ、とても参考になった。盛りだくさんで充実した5日間でした。
- ・先生方の熱い思いが伝わる素晴らしい授業を受けることができたことに感謝しています。専門的かつ実践的なお話を聞くことができ、受講してよかった。
- ・正直なところ疲れたが良い刺激となった。あらためて振り返るきっかけとなった。
- ・5日間ということで、かなり疲労感があった。しかし、講師の先生方も受講側の気持ちを察しながら、良い講習をして頂いたと思う。
- ・今まで理解していたより、深く専門的な講話が聞いて参考になった。
- ・自分自身の知見を広げ、深めるうえでとても良い5日間だった。先生方の気持ちが伝わる良い講習だった。
- ・5日間のコンパクトな講習は良かった。大学の先生方の人間性にも触れ、大学生に戻ってもう一度勉強してみたい雰囲気になった。
- ・正直なところ体はつらかったが内容は必要なことだった。
- ・LD、ADHD、自閉症等のことがよく理解できていないまま、普通学級の中でそのような傾向のある児童を担当していたので、今回の研修で2学期からの指導法が見えてきたように思う。有意義な講習だった。
- ・普段受けている講習とは違った方向からの講義だったので興味を持って聴くことができた。学校現場でも、医療の面からの“工夫”があることがわかった。
- ・5日間の講義は体力的にきつと感じた。特別支援の講義は具体的な事例も豊富にあり、今後の指導に活かせると思った。
- ・現職の研修内容としては最適であった。
- ・正直最初是否定的であったし、本大学を選んだのも募集が県内で1番早かったから、通うのに便利だったからだけで、講習の内容までは考えなかったが、受講を終えた今は福祉大で受講して良かったというのが感想である。選択講習の内容が自分にとって有意義だったのが理由である。しいて言えば、複数の先生が話したことがテストに出て、迷うようなところがあった。(選択の2問目)焦っていたので余計に感じたのかもしれないが…。全体的には受けて良かったのが今の思い。

- ・タイムリーな内容が多く、非常に勉強になった。
- ・教育現場にあった内容を絞った内容だと良かった。必修はいらないかも…。
- ・今の教育界のかかえる問題について詳しく講義があり良かった。自分の頭の中の知識が整理され、この機会を得ることができよかったと思う。
- ・これまでの教師生活における認識をあらためて考えさせられる機会になったと思う。特にこれから様々な子にどう対応していくかを問われている今日、今回の講習は大変意義あるものとなった。
- ・5日間は大変であるが、連続して一定期間中に受講できる点が良かった。久しぶりに講習を受けることは意義のあることであった。
- ・各専門の先生の話聞く機会は大変貴重だと思った。
- ・毎日5時に起きて片道1時間ちょっとかかるので5日間連続はとても疲れた。（年齢も年齢なので）しかし、それ以上にやってよかったという思いが強く、毎日意欲を持って参加することができた。
- ・はじめは大変だと思ったが、講習を受け大変勉強になった。しかし仕事面ではきつかった。文科省が受講料を無料にしていただけよう頑張ってください。
- ・障害児教育をテーマにしているので研修へ良く行くが、具体的な症例をあげての専門家の話が今回の講習の方が分かりやすく良かった。健常児にも通ずるツールがたくさんあり参考となった。
- ・小、中、高、いろいろな学校について知ることができて良かった。
- ・受講そのものは大変有効だと思うが、義務として位置づけられると実務との兼ね合いで、多くのことに支障をきたす現実があり、非常に苦しい5日間だった。
- ・幼稚園でパートとして働いているため、はっきり言って難しかった。障害児の講義は非常に勉強になった。これからの保育につなげていきたい。
- ・大学の先生方の資料や講習内容がとてもわかりやすく、楽しく話を聞くことができた。また、今までの自分の指導を振り返ったり、専門知識を得ることができたり、とても実りのあるものとなった。スケジュールはちょっと大変だったが、5日間まとめて頑張る方がやりやすいかもしれない。
- ・免許更新のための講習をなぜ今?!という思いはあったが、実際講義を受けてみて多様化する現状を知るには必要なのだと感じた。講義を受けてみて楽しかった。
- ・難しい内容だったが、今まで知らなかった知識を沢山学ぶことができてとても勉強になった。
- ・最近の教育界の流れについて、丁寧に説明がなされ、とても勉強になりました。また、日々の指導に生きる内容・事例が多くとてもよい研修となりました。
- ・各分野のエキスパートの先生方をそろえてくださったのでしょうか、とても分かりやすく非常に充実した研修になりました。

- ・興味や関心のある特別支援についての講義だったので、受講してよかったと思う。
- ・卒業した大学に戻ってこられてとても良かったです。年代の差が大きく感じました。もっと演習的な事を入れてもよかったのではないのでしょうか。
- ・すべての講習について、今後現場での授業や学級経営の改善のヒントになった。
- ・本当によかったです。私の今後の教育活動に幅を持たせてくれました。先生方および事務局の方に感謝申し上げます。
- ・必修は基本的なこと、選択はちょうど自分の担当している分野だったのでわかりやすかった。普通学級の中にも結構特別支援を必要とする子はいるので、このような講習があるのは良い機会になると思う。
- ・専門的なことをたくさん教えていただき、とてもよかった。今後すぐに生かせる内容でとても満足している。
- ・疲れました。
- ・とても勉強になりました。実践的な内容が多く、たてまえでない、経験をお積みになった先生方の言葉をたくさん聞くことができよかったです。現場で役立つと思いました。
- ・実践的な内容が多く、普段の研修とは違った成果を得ることができた。中途半端に考えていたこと、迷っていたことが解消できた。
- ・LDやADHDなどについて詳しく知ることができて良かった。また、実際に現場で実践を行っている人の話だったので良かったです。
- ・現場を知っている人の話が多かったので、うなずきながら聞く場面が多く良かった。
- ・資質能力の保持については「？」ですが、私自身は今の自分を見直すきっかけになりました。校務と講習のタイミングが合わず、迷ったというのが本音です。教員の意識レベル次第で良くも悪くもなると思います。
- ・選択の講習が新鮮で興味深く受講できた。
- ・講義の内容はとても良く充実していました。満足です。自分の職場で生かせると思いました。ただし、このように素晴らしい内容を5日間で、しかも朝の9時から4時過ぎまでつめこむと消化不良の面もありました。良い内容だけどそれをもったいないと感じました。スタッフのみなさまの気配りも良かったです。
- ・2学期の期末、日程を休日等に設定していただき良かったです。内容も専門的な方から事例を聞くことができ、今後役に立てていきたいと思います。
- ・必修講習については、「子どもの生活の変化の理解」が一番興味を持って聞きました。私が教員になってからというもの年々仕事が忙しくなり、出張に行く時間さえおしいということもあり、職場を離れてじっくりと学ぶことが出来なくなっているので、大変ためになりました。
- ・たくさんのことを学べて明日からの指導に役立てていきたい。
- ・専門的な分野について詳しく講義していただき大変勉強になりました。理論だけでなく実践方

法について役立つことがたくさんありました。できれば時間をかけてじっくり講義を受けたかったです。

- ・講習の制度には疑問があるが、講習の内容は素晴らしかったです。福祉大を選んで良かったと思います。福祉大の特別支援教育研究センターを是非見学させていただきたいです。
- ・多岐にわたる（必修・選択とも）内容である。
- ・特別支援学級の担任であったので、内容的に満足しました。
- ・発達障害については良かった。
- ・発達障害についてまとめて講義していただいたのでとても満足しました。
- ・前半の講義は難しかったが、選択の18時間は興味のあることで、実際の現場で活用できる内容だったので良かったと思います。できれば幼稚園と小学校、中学校というように分かれての講義だともっと良かったと思います。
- ・運営面については大変親切であり、分かりやすく感じた。講習内容も非常にためになるものであった。
- ・選択は実際に現場で活用できるもので良かったし、役立たせたいと思う。
- ・支援の必要な子どもの理解と対策（具体的な実践）が分かりました。
- ・専門的分野（障害について）の講義たいへん自分の今後について役に立つと感謝しております。
- ・とても自分が振り返る意味でも充実した5日間でした。
- ・必修の内容がとても良かったです。

〈改善点〉

- ・単位の時間が多すぎる。詰め込みになり、後半になると集中力もなくなってくるので、もっと効率的に講習を入れて欲しい。
- ・校種の幅や職種に違いがあるため（また経験年数でも）内容がどうしても広く浅くなってしまう。
- ・5日間集中講義だったため疲れた。2回～3回にわけて実施してもらっても良かった。
- ・5日間午前午後びっしりの講義は大学を卒業して以来数十年ぶりだったので、正直なところ疲れました。パワーポイントは細かくて見にくい所があったのが残念です。テキスト、パワーポイントにそった講義でないものは、あとで振り返りがしにくいと思いました。
- ・法律などは必要だとは思いますがもっと現実に即した講義で教育基本法、学校教育法を詳しくしてほしい。
- ・疲れた。「やりたくなかった」と言いながら講師をするのはよくないと思う。必修・選択セットなので緊張感が強かった。（休めないというプレッシャー）
- ・1番最初の講習とはいえ、各学校、都道府県の足並みがバラバラで混乱した。（予備講習は終了したなどの連絡が後から知らされたりなど）

- ・役立つということよりも必要性はあると感じた。特に必修に関しては…。選択に関してもあまり興味はなかったが受講して大変よかったです。ただ時間的な問題で体が厳しい。もう少し余裕をもってできればよかった。
- ・椅子に座りっぱなしなのでとても大変だった。
- ・石巻から通う場合、毎日5時に起き、帰りは19時半くらいでそれが5日間続き大変だった。90分×4コマをこなす毎日でも大変だった。
- ・体力的に疲れるだけで、得るものがない。自分で3万円払って強制的に受講させられるような気分で意欲的に取り組めない。何のためにやるのか意味が理解できずに終わった。
- ・内容は充実していてよかったです。先生方には感謝しています。決まっているので仕方ないですが、90分は長かったです。
- ・必修と選択をわけてもらえるとありがたかった。
- ・講義の時間が長くて集中力がもたなかった。10分の休み時間は少なく、トイレに行くしかできなかった。昼食時間は1時間30分は欲しい。
- ・選択は受講の価値があると思いましたが、前半の2日間に関してはどうなのかという気持ちです。更新するのに値するのでしょうか？
- ・勉強にはなりましたが、1日4コマを5日間は正直疲れました。
- ・5日間連続は正直つらいものがある。夏・冬2期に分けるとか、年間数回に分けて受講できるとなお良いと思う。学校、家庭を5日間連続で空けるということも少し考慮して頂けたら幸いである。
- ・講義の内容には満足していますが、選択なのに必修とセットというのは疑問でした。
- ・講習内容はとても有意義なものでした。しかし「専門性を高める」のが目的であるなら、校種・年齢によって学ぶべきものは多少変わってくるのでは、と思いました。
- ・資料はしっかり見えるものか、ホームページ上に電子化してのせてほしい（特にグラフ、表など）
- ・必修講習は自己研修でも十分な内容だったのではないか。一方、選択講習は大変勉強になった。
- ・一日中座りっぱなしは苦痛だった。
- ・時間に正確なことは良かったが、文科省の言われた通り？で時間に厳しすぎる。
- ・学ぶことは多々ありましたが、講義の内容に重なりがあったことが少し残念でした。一考をお願いいたします。
- ・忙しい仕事の中で5日間を確保するのは大変だった。90分4コマもきつい。
- ・スケジュールがきつかった。
- ・現場の話がもっと聞きたかった。特に必修は法規とか歴史とかほとんど役に立たないと思う。（これは大学側に言っても仕方ないかもしれないが…。文科省へ言うことができない…。）
- ・内容的には大変役立つ内容だったと思うが、スケジュール的にきつい。

- ・ 選択講習は興味のあるもの、学びたいものがある程度学べるので研修になると思うが、必修講習は必要だろうか？
- ・ 希望するしないにかかわらず、しかも受講料がかかるのは少し疑問が残る。
- ・ いろいろな知識を身につける上では良かったが、30時間（5日間）とても長かったように感じる。
- ・ 幼稚園教諭向けの更新講習も実施して欲しかった。
- ・ 選択講習はさすが専門のスタッフがそろっている福祉大ならではの講義で大変勉強になった。必修の内容については印象がうすい。
- ・ 特別支援関係の児童が多くみられる現在、講義は勉強になったが、現場の教師はもっと具体的な方策が知りたい。
- ・ テキスト、レジメにそった講義の進め方だと分かりやすいが、いくつかの講義ではそうになっておらずやや混乱した。
- ・ 最近の知識技能を習得することは非常に有意義だと思う。しかし、保護者、児童が多様化する中、教員の時間は不足している。子どもと向き合う時間を作るほうが良いのでは？と思う。
- ・ 現場で役立つ内容のものが少なかった。
- ・ 朝早くからさきつい講習でした。自宅から本大学まで遠いので通学面など家族に協力してもらいできました。もう少し近い場所の大学などでも受けられたらと思います。
- ・ 夏と冬に分けて受講できると良い。
- ・ 経験年数もあると思うが、私としては正直もう少し詳しい最新動向が知りたかった。でも基礎的なことは確認できた。

〈制度に対する意見〉

- ・ 講習事態はあっても問題ないと思うが、試験によって免許更新ができなくなるのはどうか。それよりも多くの講習を実施して質の向上を目指した方が良いと考える。
- ・ もう少し受講しやすい制度にしてほしい。各都道府県教育委員会が主催する研修も単位化するなど様々な部分で負担とならない方法を。
- ・ 10年研修との抱き合わせで実施するべきである。なぜなら夏休みには三者面談や部活動指導の他多くの仕事を抱えているからである。
- ・ 終わってみればあった方が良いと思うが大変である。
- ・ 30時間は長い。教員の負担増にもなる。（1週間拘束、宿泊費用等）
- ・ 夏休みとはいえ、5日間学校を空けることへの申し訳なさがあった。教員になり、初任研・10年研と研修はあるのに何を今さらというのが率直な思いです。問題のある教員を校長が選ぶなどしてこの研修を行うともっと実りのあるものになると思いました。
- ・ 研修センターでの研修と重なるところがあるので、大学の講義をお金をだして受けることに疑

問はある。講義の内容には満足している。

- ・講習は役に立つと思う。しかし校務や参加費用など受講生の負担は大きい。幸い自宅から近く、内容も関心のあることだったので有意義な感想は持っている。文科省の政策に対して不満を強く感じる。実施するのならば、現場の状況を把握しながら運営面で簡素化していただきたいかった。
- ・内容等に大学間に差があったらどうしよう。
- ・本当に今後の我々の資質の保持に役立つかは疑問。3万円という費用も高すぎです。
- ・教員免許状更新制度そのものが不要である。
- ・内容はとても役立ちました。おもしろかったです。ただこれが義務なのが納得いきません。夏休みはとても忙しいですし、他の時期にも時間はありません。また30時間は長すぎると思います。
- ・管理職こそ受けるべきだ。
- ・自分の勉強のため…と思えば良いのですが、義務で講習をとというのは納得できません。(法律への不満です。)
- ・免許更新でなくてもいろいろな講習会に参加しているので、教員を続けている人は、特に更新のための受講は必要なのかわからない。
- ・教員が、結果強制的に更新講習を受講しなければならない点が納得いかない。(受講料3万円を払って)教員の負担が大きすぎる。
- ・講義から得るものはたくさんあった。しかし、日頃センター研修等で積極的に受け、自分に必要なものは得るよう努力しているつもりなので、そういったものを代替にできないものかと思った。決められた場所日時で習得するのは、現場にいる者としては厳しいと感じた。
- ・講習そのものに反対ではありませんが、国が教育について考えて行こうなら、自費での受講はおかしい。
- ・更新講習の意味がわからない。後々続けられていくのかと思っていましたので不満が残りました。勉強させていただいたのはありがたかったです。

補 註

本論文の「註」は、前号にまとめてある。